

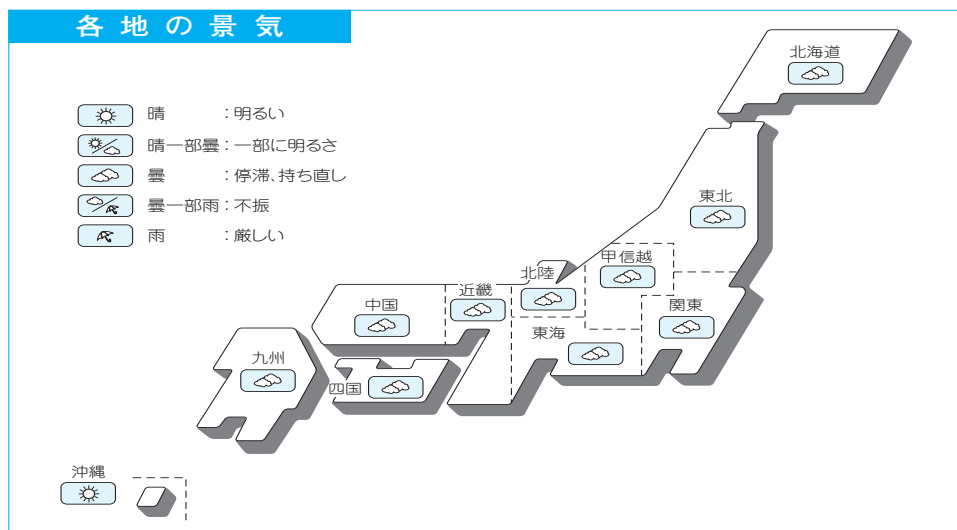
全国地方銀行協会



地方経済天気図

(平成25年12月発表分) から

緩やかに回復している

1. 各地の景況感



-  **北海道**…外国人客の増加から、観光が好調。雇用は有効求人倍率が上昇し、回復の兆し。
- 東北**…米国・中国向けの自動車、自動車部品の輸出が増加し、生産も増加。
- 関東**…百貨店での高額商品に加え、乗用車の販売が増加。公共工事は発注が高水準を持続。
- 甲信越**…住宅建築が増加。雇用は製造業、建設業、卸・小売業で新規求人数が増加するなど、持ち直し。
- 北陸**…生産は医薬品が高水準を持続し、電気機械、精密機械も増加。
- 東海、中国**…輸出が北米・欧州向けの自動車、一般機械を中心に増加。
- 近畿**…個人消費は乗用車販売が増加し、住宅建築も増加。
- 四国**…設備投資は製造業で投資計画を積み増す動きがみられる。雇用は製造業、医療・福祉などで新規求人数が増加し、緩やかながら回復に向けた動き。
- 九州**…公共工事が増加。生産は電子部品、窯業・土石製品が増加。
-  **沖縄**…観光が中国、台湾、韓国からの外国人客の増加から、好調持続。

2. 近県「現在の景況」

「宮城県」

全体として景気は、回復のテンポは鈍化してきているが、震災復旧需要などに伴い経済活動は総じて高水準で推移しており、緩やかな回復の動きが続いている。

「山形県」

持ち直しの動きが続いている。

「新潟県」

緩やかに持ち直し。

「栃木県」

持ち直しの動きが続いている。

「茨城県」

持ち直しの動きがみられる。

3. トピックス（東北・近県）

「青森県」

青森市は、中心市街地にある空き店舗や空き地の情報を HP を通じて提供する事業「青森まちなか空き店舗バンク」を開始。中心市街地の空き地・空き店舗は、平成19年で14.6%、21年には16.8%まで上昇。家賃補助制度など市の制度活用が進んだ。

「岩手県」

岩手経済研究所が平成25年10月に実施した「岩手県内企業景況調査」（回答企業180社）によると県内企業の最近の業況は、「良い」と回答した割合が15.6%、「悪い」が29.1%となり、業況判断 BSI はマイナス13.5と前回調査（7月）を5.9ポイント上回った。2期連続の改善となり全体としては持ち直しの動きとなったものの、業種間で判断が分かれた。

「秋田県」

東北経済産業局が発表した平成25年1－6月（上半期）の工場立地動向調査によると、県内の立地件数は前年同期比3倍の9件。平成24年7月にスタートした再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度を背景に、風力発電施設や大規模太陽光発電所（メガソーラー）の新規立地が全体を押し上げた。業種別では、風力や太陽光発電設備の設置を進める電気業が5件（風力2件、太陽光3件）と全体の55%を占めた。

「宮城県」

東日本大震災の被災によって休館していた石巻市の慶長遣欧施設ミュージアム「サン・ファン館」が約2年8か月ぶりに再開し、修復した「サン・

ファン・パウティスト号」が一般公開された。また、平成25年が支倉常長の慶長遣欧使節団が石巻を出帆してから400年目の年にあたることから、施設に隣接するサン・ファンパークでは出帆400年記念イベントが開催された。

「山形県」

県の発表によると、平成25年上半期（1－6月）に山形県を訪れた外国人旅行者は前年比23.0%増の延べ2万2,913人。震災前の平成22年同期に比べると60.4%減少。依然として原発事故などの影響が払拭されていないほか、台湾からの冬季チャーター便の減便などが響いたとみられる。

「新潟県」

平成25年11月7日、新潟市などが主催する国際的な食の見本市「フードメッセ in にいがた」が新潟市内で開催され、3日間で約8,000人が来場。食品加工業や県内外の食品関連企業266社が出展。今回、目玉として「6次産業化普及・促進ゾーン」が設けられ、新潟県内での先進事例が紹介され、小型製粉機や卓上おにぎり機など農産物の高付加価値化につながる機器を展示。

「栃木県」

平成25年11月24日、「ゆるキャラグランプリ2013 in 羽生」が埼玉県羽生市で開催。全国および海外6か国から452キャラクターが集まり、2日間で45万人が来場。25日には、総合ゆるキャラランキングの投票結果が発表され、佐野ブランドキャラクター「さのまる」が優勝。2位は「出世大名家康くん」（浜松市）、3位は「ぐんまちゃん」（群馬県）。

（出所：全国地方銀行協会地方経済天気図12月分より抜粋）

（担当：斎藤）